

東久留米市立第六小学校 第2学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の読み取りが苦手な児童がいる。 語彙が少ない児童や促音や片仮名で表す言葉を正しく書けない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の問いに線を引かせ、問いと答えが正対するよう授業で繰り返し指導する。 必要な児童には、一緒に音読したり問いを探す補助をしたりする。 促音や片仮名で表す言葉は、間違い探しやゲームなどを通して楽しみながら繰り返し指導する。 授業中に出てきた新出語句の意味を確認したり、短文作りをしたりして言葉に触れる機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りのテストのミスを減らし、平均点を上げる。（学級平均85点以上） 100字程度の作文を、正しい表記で書けるようにする。 ノートやワークシートに作文を書くことに慣れさせる。（月に2回以上）
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数量の感覚に乏しい児童やケアレスミスが続く児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックやリットルます、時計の模型やものさしなど、実物を使って考え体感させる活動を取り入れる。 問題文は指でなぞって読み、キーワードと数字に印を付けることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての単元テストにおいて総合平均が80点以上になるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 人や物、自然との関わりを通した、実感を伴った気づきに差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をして人や物と積極的に関わることができるようにする。地域のお店や施設の見学等、体験学習を計画的に進め、観察や見学、発表を通して考えを深めることができるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で、核となる体験活動の一つ以上位置付ける。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 技能に差があり、正しい運指や正しいリズムで演奏するのが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教え合う時間を設定し、一人ずつの演奏を聴取して、じっくり練習する時間を設定する。 個々の実力に合った課題に取り組みさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 器楽やリズムのテストでは、どの児童も課題の8割はできるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 学習に興味・関心はあるが、表現する段階になると方向性を見いだせない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える時間を十分に設け、友達と意見交換をさせながら、表現したいことを膨らませて創作活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始めに前時の振り返りとして作品を鑑賞する時間を設け、学習に興味・関心をもたせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体の部位のどこをどのようにすればその運動ができるのか考えたり、友達の良い動きを見付けたりすることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「○○を～してみよう。」などと具体的な指示で様々な動きを体験させ、どのようにすることがよりよい動きにつながるのか考えさせていく。 学習カードやワークシートに運動遊びのイラストを載せたり、タブレットでお手本の動画を見せたりして、視覚的に学べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で、学習カードやワークシートの記述や授業中の活動の様子、発言等から児童の変容を見取る。8割以上の児童が楽しく工夫して運動できるようにする。

道特
徳別
の
教
科

・めあてに対して真剣に考えることができる児童が多い。しかし、自分のこととして捉えたり、現実場面を想起して考えたりすることが難しい児童がいる。

・教室壁面に道徳コーナーを作成し、自分のこととして具体的に考えたり現実場面を想起して考えたりしている児童の感想を取り上げる。いつでも感想等を振り返ることができるようにすることにより、他の児童の思考を促す。

・児童の発言やワークシートの記述から、毎授業児童の考え等を丁寧に見取る。道徳ノートにワークシートをまとめ、児童の変容に目を向ける。(学期に2回程度)